

第2学年国語科学習指導案

日時 平成21年10月2日(金) 6校時
児童 2年生 男子3名 女子4名 計7名
指導者 及川 勝也

- 1 単元名 「海の生きものなかよしカード」を作ろう。
教材名 「サンゴの海の生きものたち」(光村2年上)

2 単元について

(1) 児童について

児童は1学期の「たんぼぼのちえ」で、時間的な順序に気を付けながら説明的な文章を読み、たんぼぼが知恵を働かせている様子やそのわけについてまとめる学習をしてきた。また、挿絵や文から分かったことや、不思議に思ったことを中心に課題作りをし、それに沿って、学習を進めていくことも学んでいる。読み深める段階では、視点に沿って読み進め、主語や述語に気を付けながら様子について書いている文を見つけたり、文末表現に着目し、たんぼぼが知恵を働かせたりするわけを見つけたりする学習を進めてきた。また、単元の最後には、「しょくぶつしょうかいカード」を作り、読み取ったことを活用する言語活動を行った。

これらの学習を通して、児童は挿絵を手がかりに説明文を読むことにより、未知のことを知る喜びを味わうことや語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読むことができるようになってきている。また、文章を読む際に視点を持って読み取ろうとしたり、読み取ったことを活用して表現したりする態度は育ってきている。しかし、内容を読み取る力や表現力については個人差が大きく、一つ一つの文の意味が分かっても文と文のつながりを考えたり、重要な語句に着目しながら読み取ったりする力、読み取ったことを活用する力はまだ十分とはいえない。表現力に関しては、小規模校ゆえの生活経験の不足から特にも付けたい力であると考え。授業の中でも意図的に書く力や発表する場を多く取り入れ、表現力の向上を目指していきたい。

(2) 単元及び教材について

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。「書くこと」の目標は、「経験した事や想像した事などについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。」である。本単元では「読むこと」の指導事項イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」と「書くこと」の指導事項ア「経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めること。」を主目標とする。

本教材「サンゴの海の生きものたち」は、海の生き物たちが、それぞれの特徴に応じて共生している様子について順序立てて説明している文章であるので、児童にとっては、興味深く学習を進めることができる内容である。未知の海に住む生きものたちが、次々に登場してくることから、興味を高めながら読むこともできる教材である。

本教材は、1話題提示、2具体例Ⅰ、3具体例Ⅱ、4まとめ、という文章構成である。問いかけの文「どんな生きものたちが、どんなかかわり合いをしているのでしょうか。」により、読み進める目的がとらえやすくなっており、そこに着目しながら共生の関係を読み取っていくことができる。しかし、これまで読んできた説明文に比べ、登場する生き物の数が多く関係も入り組んでいるため、中心的な事柄を読み取れないでしまう児童がいることも予想される。

さらに、「海の生きものなかよしカード」を作ることを目的とすることで、意欲的な読みにつながり、内容の大体を読み取る力をつけるとともに、他の生き物にも興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てていくことができるのではないかと考える。

(3) 指導について

第一次では、海の生き物の写真を見せて話し合うことから、海の生き物についての興味を持たせる。教材文の問いかけの文から、生き物の「特徴」と「かかわり合い」を讀みの視点として設定する。その際、「サンゴの海の生きものたち」を読み取り、「海の生きものなかよしカード」を作り一年生に紹介するという、明確な目的意識を持たせて取り組ませる。

第二次では、「イソギンチャクとクマノミの共生関係」「ホンソメワケベラと大きな魚たちの共生関係」について読み取らせる。どちらの事例も①生きものの体の特徴、②お互いが役に立っていること、という順序で書かれている。その特徴とかかわり合いなど、大事な文にサイドラインを引いたり書き抜いたりする活動を取り入れて、児童の読み取りの様子を把握し、確かな読み取りへと導いていきたい。「いろいろなくちばし」や「じどう車くらべ」で学習した問いかけの文や答えの文についても想起させ、「たんぼぼのちえ」で学習した、理由を述べる文についても読み取らせたい。また、魚や海の写真を用意しイメージをもたせ、叙述と照らし合わせたりして読みを深められ

るようにしていきたい。

第三次では、学習したことをもとに、他の生き物についてどんなかかわり合いがあるのか考えさせる。自分で図鑑や読み物の本などから同じようにかかわり合いを持った生き物に注目させ、その生き物についてそれぞれの特徴やかかわり合い方を「海の生きものなかよしカード」に書かせたい。その際、並行読書をすすめ、見通しを持って学習に入ることができるようにしたい。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

○海の生き物の共生や、説明文の組み立てに興味をもって読もうとする。

(2) 読む能力

○「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読むことができる。(読むことイ)

○語や文のまとめりや内容、言葉の響きなどについて考えながら声に出して読むことができる。(読むことア)

(3) 書く能力

○本を読み、生き物の特徴やかかわり合いについて「海の生きものなかよしカード」を作ることができる。(書くことア)

(4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使うことができる。

〔言語事項(1)ウ(ア)〕

4 単元の指導計画および評価規準(全10時間)

次時	主な学習活動	具体的評価規準
第一次	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">学習の計画を立てよう。</div> 【課題】海の中は、どんなところか話し合おう。 (1) 写真を見ながら海の生き物について知っていることや感じたことを話し合う。 (2) 全文を通読し、初発の感想を書く。 (3) 漢字や語句の学習をする。	【関】 興味をもって読み、写真を見て気づいたことを発表しようとしている。(発表) 【読】 全文を読んで、初発の感想をもっている。(発言・ノート)
	【課題】学習計画を立てよう。 (1) 「海の生きものなかよしカード」を作る学習計画を立てる。	【関】 問いかけの文から生き物の「特徴」と「かかわり合い」を視点とし、カード作りに意欲をもっている。(発言・ノート)
第二次	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">生き物の「特徴」と「かかわり合い」を読み取ろう。</div> 【課題】イソギンチャクとクマノミの体の特徴を読みとろう。 (1) イソギンチャクとクマノミの特徴を読み取る。	【読】 イソギンチャクとクマノミの体のしくみや特徴を読み取っている。(発表、ワークシート)
	【課題】イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読みとろう。 (1) イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取る。	【読】 イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取っている。(発表、動作化、ワークシート)
	【課題】ホンソメワケベラの体の特徴と、大きな魚とのかかわり合いを読みとろう。 (1) ホンソメワケベラと大きな魚の特徴やかかわり合いを読み取る。(本時)	【読】 ホンソメワケベラの体の特徴と、大きな魚とのかかわり合いを読み取っている。(発表、動作化、ワークシート)
本時		

第3次	6 7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">「海の生きものなかよしカード」を作ろう。</div> 【課題】他のの生き物達の特徴とかかわり合いをまとめよう。 (1) 他の生き物について、どんなかかわり合いをしているか、書くための情報を集める。	【関】 かかわり合っている生き物について、その魚の特徴を集めている。(観察)
	8 9	【課題】「海の生きものなかよしカード」を書こう。 (1) 読み取ったことを文にまとめて「海の生きものなかよしカード」を書く。	【書】 生きものの名前、特徴、かかわり合いを大事な言葉を落とさず、文にまとめている。(ワークシート)
	10	【課題】「海の生きものなかよしカード」を紹介しよう。 (1) 1年生に紹介する。 (2) 友達の良いところを見つける。	【書】 お互いに読み合って、よさを見つけることができる。(発言・ノート)

5 本時の学習 (本時5 / 10)

- (1) 本時の目標
ホンソメワケベラの体の特徴と大きな魚とのかかわり合いを読み取ることができる。
- (2) 指導にあたって
確かな読みの力をつけるために、本時では次の言語活動を取り入れる。
《言語活動①》 かかわり合いの様子を動作化する。
《言語活動②》 主語を置き換え、リライトする。
- (3) 本時の展開

段階	学 習 活 動	○指導上の留意点◆評価
見 通 す 2 分	1. 前時を想起する。 2. 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ホンソメワケベラの体の特徴と、大きな魚とのかかわり合いを読み取ろう。</div>	○写真や掲示をもとに、クマノミとイソギンチャクのかかわり合いを振り返らせる。 ○読みの視点は「特徴」「かかわり合い」であることを想起させる。
ふ か め る 27 分	3. 課題を解決する。 (1) 学習場面 (⑦～⑨段落) を音読する。 (2) ⑦～⑨段落の読み取る事柄を確認する。 ・⑦は、ホンソメワケベラの体のとくちょう。 ・⑧は、大きな魚にとってよいこと。 ・⑨は、ホンソメワケベラにとってよいこと。 (3) ホンソメワケベラの体の特徴について読み取る。 ・明るい青色の体 ・黒いすじが一本 ・十二センチメートルほど (4) ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読み取る。 ・体や口の中についた虫を、ホンソメワケベラがとってもきれいにそうじしてくれる。 ・ホンソメワケベラにとっては、そうじをしてとった虫が、食べものになる。	○読みの視点を意識させて一斉読させる。 ○⑦～⑨の文章構成をとらえさせる。 ○写真と照らし合わせて、特徴をつかませる。 ○発表し、ワークシートに書き抜く。 ○「ホンソメワケベラにとって良いこと」と、「大きな魚にとって良いこと」を考えさせる。 ○サイドラインを引き、学び合う。

	<p>《言語活動①》</p> <p>(5) かかわり合いの様子を動作化する。</p>	<p>○ペープサートを使い，会話しながら動作化をすることで，互いに役に立っていることを確認できるようにする。</p> <p>○自分のパートを考えさせてから，ペアで話し合う時間を設定する。</p>
<p>まとめる 15分</p>	<p>4. 学習のまとめをする。</p> <p>《言語活動②》</p> <p>(1) 主語を置き換えリライトする。</p> <p>・大きな魚にとって良いことは，体や口の中についた虫を，ホンソメワケベラにきれいにそうじしてもらえること。ホンソメワケベラにとって良いことは，そうじをしてとった虫が，食べものになること。このように，おたがいたすけ合っている。</p> <div data-bbox="236 763 1198 1086" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆具体の評価規準</p> <p>A ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを分かりやすく，ワークシートに書いている。</p> <p>B ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いをワークシートに書いている。</p> <p>C 写真や文などから分かることを手がかりに，言葉や文から見つけさせる。</p> </div> <p>(2) 学習を振り返りながら音読する。</p>	<p>○ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについてまとめる。</p> <p>○ワークシートには、「大きな魚にとって良いことは・・・」「ホンソメワケベラにとって良いことは・・・」という書き出しをのせ，お互いにとって良いことを，自分なりにまとめて書かせる。</p> <p>○読み取ったかかわり合いを意識しながら，音読させる。(指名読)</p>
<p>つなげる 1分</p>	<p>5. 次時の学習を知る。</p>	<p>○次時の予告をする。</p>